

これまでの服装についての協議や取り組み

令和6年7月9日(火)学校再編準備会議

【事務局より】

- ・第1回総務部会で協議された概要についての説明
- ・アンケートの実施(案)について説明

【準備会議での意見】

- ・教育的な理念で考える必要がある
- ・未来を見据えた服装
- ・南小・千代小・松小に近い制服を採用する
- ・良いところどりをすればよい(制服は南、クラス名は千代のような)
- ・制服は新しいデザインで作るべき(南、千、松のデザインでないもの)
- ・私服を検討してほしい
- ・制服を標準服にし、自由服の着用を認める。



アンケートについては再考すべき(取りやめ)

- ・まだ、制服ありきで固まっていない。
- ・児童にも意見を聞いたほうがよい。



困難な課題に対して主体的に関わり解決していくことや、多様性を認め合い、納得解を見つけていくことは今後の教育的視点として大切なことである。そこで、再編4校の小学校6年生児童に新小学校についての服装についての話し合いの場を設けた。[資料5](#)

・話し合いの概要については、資料5

〈話し合いのポイント〉

- 新しい学校のコンセプト「つながり」が理解できているか。
- 小学生らしい服装で考えられているか。
- これからの小学校のことを自分事として、捉えられているか。
- 自分と違う意見を尊重し、認めただうえで、自分の思いや考えが述べられているか。
- 円滑に話し合いが進められているか。

総務部会決定事項

着用を義務付けない標準服を導入する。

～学校生活で標準服着用を義務付けず、服装は標準服でも私服でも自由～

- 標準服は学校で着用することが望ましいと推奨される服装
※現在、小松島市内の小学校は標準服となっている。
- 様々な課題に対して主体的に考え、自ら判断する。そして、その決定したことについて、自らが責任をもったり、とったりできるような児童を育てていく必要がある。
- どのような服装であってもいじめる、いじめられることは、そもそもあってはならない。
- 経済的な面から考えると、価格の高い安いは家庭によって異なり、相対的である。
- 制服は愛校心や所属意識を育むという意見もあれば、表現の自由を奪うという考えもある。

【総務部会の意見】

- ・制服への賛否が混在する中では、この案で多くの方の同意を得られる。
- ・子どもも大人も多様な価値観があるため、1つに決めるのには無理がある。
- ・これからは、固定化された考えではなく、新しい価値観を見出していく人材育成が必要になる。
- ・同調して安心を得るのではなく、違いを認め合えることが大切。
- ・そろえた制服を着ないから愛校心や所属感、規範意識がないということは一切ない。

〈標準服の仕様(案)〉

シングルタイプ、ダブルタイプどちらも標準服にする。

- ※この仕様については、全国的に小学校で多く採用されており、同じような仕様の製品が各メーカーから販売されているなど入手が容易である。価格については、各メーカーや機能性によって違いがある。
- ※現在、シングルタイプ(南小松島小)、ダブルタイプ(小松島小、千代小)を使用している。

【総務部会の意見】

- ・シングルタイプとダブルタイプの違いがほとんどわからない。
- ・体格の変化に対応したいなど、個々のニーズに合わせられるよう選択できる方がよい。
- ・再編される子どもたちが、現状の服装のまま通学できる。